

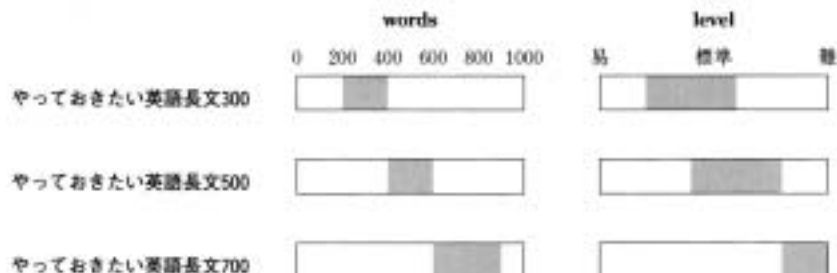
## はじめに

大学の入試問題では、読解問題が最も大きな割合を占めていますし、その割合は近年ますます高くなっています。読解問題を解けるようにすることは、受験を突破するうえで避けては通ることができません。それでは、読解問題を解くためには、どのような力が必要なのでしょう。語力に加えて、一文一文の構造を正確に捉え、内容を把握する力が必要です。さらに、複数の文が集まって文章が構成されている以上、文と文のつながり、すなわち文脈を読み取る力も必要です。また、近年の入試問題では、今日的な話題が出題されることが増えています。そうした話題について知っておくことも、内容を理解するためには大切です。

こうした力をつけるためには、何よりも良い英文を読み、良い問題を解くことです。そこで、近年出題された問題の中から、英文の長さや難易度を基準に繰り返し読むに値する英文を選び、3冊の問題集にまとめました。設問は、ある文章に対して問うべきこと—内容の理解と英語の理解—という観点から、ほぼ全面的に作り変えてあります。

やっておきたい英語長文300は、200語から400語の比較的短めで、やや易から標準レベルの英文30題で構成されています。センターレベルの英文を読みこなせるようになることが目標です。また、一文一文の構造を正確に捉え、内容を把握するために必須の表現を **Point** にまとめ、基礎的なものから順番に無理なく学習できるように問題が配列されています。

やっておきたい英語長文300を終えた人は、やっておきたい英語長文500に挑戦してください。



本書が皆さんの想いの実現に向けて、役に立つことを願ってやみません。それでは、問題1にトライしてみましょう。

著者記す

## 目 次

1	本能と学習（東北学院大）	5
2	燃料電池（岡山理科大）	9
3	カルチャーショック（札幌学院大）	14
4	脳の大きさ（法政大）	19
5	読書（徳島大）	24
6	よりよい親となるために（信州大）	29
7	辛抱強く待つこと（東京学芸大）	34
8	笑いの効用（愛知学院大）	39
9	うそとゴシップ（京都府立大）	44
10	動物の知能（西南学院大）	48
11	旅行（聖心女子大）	54
12	公用語（専修大）	59
13	イギリス人とアメリカ人（熊本県立大）	63
14	脳とコンピュータ（東京農工大）	68
15	人と違う道を選択すること（成蹊大）	72
16	健全な競争（和歌山大）	77
17	孤独感（福岡女子大）	82
18	恐竜の子孫（九州大）	87
19	ストレス（大阪女子大）	91
20	インターネットの影響（宮崎大）	96

21	テレビの影響（センター試験）	101
22	マニュアル思考の限界（新潟大）	106
23	心臓発作（近畿大）	112
24	睡眠（福岡女子大）	117
25	日本人の礼儀正しさ（日本女子大）	122
26	人の話を聞くこと（宮崎大）	126
27	ライト兄弟（摂南大）	132
28	読みとつづりの学習（実践女子大）	138
29	動植物に対する人間の姿勢（愛媛大）	143
30	語い力と成功の関係（宮崎大）	148

### Point

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| ① do の用法                | ⑩ the way S V           |
| ② 分詞の形容詞用法              | ⑪ 関係副詞                  |
| ③ 動名詞                   | ⑫ 非制限用法の関係詞             |
| ④ 分詞構文                  | ⑬ 連鎖関係詞節                |
| ⑤ 付帯状況の with            | ⑭ 二重限定の関係詞節             |
| ⑥ 疑問詞 + to do           | ⑮ whether               |
| ⑦ 形式主語と形式目的語            | ⑯ if                    |
| ⑧ 同格の that と関係代名詞の that | ⑰ no matter wh-節        |
| ⑨ 関係代名詞 what            | ⑱ 譲歩の as                |
|                         | ⑲ 程度を表す表現               |
|                         | ⑳ 目的を表す表現               |
|                         | ㉑ not only X but also Y |
|                         | ㉒ 強調構文                  |
|                         | ㉓ 省略                    |
|                         | ㉔ 副詞節内の省略               |
|                         | ㉕ 倒置                    |
|                         | ㉖ 仮定法                   |
|                         | ㉗ 仮定法の条件節の倒置            |
|                         | ㉘ 共通関係                  |
|                         | ㉙ 最上級相当表現               |
|                         | ㉚ the + 比較級             |

## 解答

- 問1 イ, contrast  
 問2 (2a) ウ (2b) エ (2c) イ  
 問3 ウ, flexible  
 問4 エ  
 問5 やがてその生物は、成功するために自分が何を行ったのかを理解する。

## ▶▶ 設問解説 ◀◀

- 問1 直前の文では「本能的行動」について述べられていて、空所(1)の後ろでは「学習された行動」について述べられていることから、空所には前後に対照的な事柄を置くことができる表現が必要である。したがって、正解はイ。  
 それぞれの選択肢は、in と共に用いると以下の意味になる。  
 ア、「実際は」イ、「それとは対照的に」ウ、「特に」エ、「要するに」
- 問2 (2a) 動詞を強調するために用いられる助動詞。  
 (2b) 「をする」の意味の他動詞。  
 (2c) 前述の動詞句の代用として用いられる代動詞。→ **Point ①**  
 ア、「映画に行くことがありますか」(疑問文を作る助動詞)  
 イ、「私は甘いものはめったに食べないが、子供たちはよく食べる」(代動詞)  
 ウ、「私は確かによく話しますが、妻はさらによく話します」(動詞強調の助動詞)  
 エ、「今夜はやるべき宿題がたくさんあります」(他動詞)
- 問3 直前の2文で「本能的行動は変わらずに固定している」ことが述べられている。空所(3)を含む文が逆接の接続詞 But で始まっていることと、また直後に述べられている学習による行動の具体例から、「学習による行動は融通の利く、順応性が高いものである」ことがわかるので、正解はウ。  
 ア、「活動的な」イ、「立派な」ウ、「融通の利く、柔軟性のある」エ、「基本的な」
- 問4 下線部(4)は「私たちは、進化が環境に対する私たちの反応を変えるのを待ってはいない」というのが文字通りの意味。「人間には順応力があるので、長い時間のかかる生物学的な進化が人間の反応を変えるのを待つのではなく、環境の変化に自ら対応しようと行動する」というのがこの文の真意と考えられる。したがって、正解はエ。